

2013 年度以降 入学生	情報リテラシー実践Ⅰ	科目種別	基礎科目群	単位数	2	特別申請科目
2012 年度以前 入学生	情報リテラシー実践Ⅰ	科目種別	基礎教育科目	単位数	2	特別申請科目
担当教員	時間割参照	前期	月～金曜日	2・3・5限		
①授業方針・テーマ	ICT (Information and Communication Technology) の使い方に習熟すると共に、それを活用して具体的な課題解決を行う。					
②習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"><li>情報の収集、分析、判断、編集、発信、共有などの処理にかかわる能力が向上する</li><li>情報機器の使い方を理解し、具体的な課題解決を実践できるようになる</li><li>以上に挙げた情報活用能力に加え、コミュニケーション能力、総合的問題思考力、能動的学修姿勢、倫理観・社会的責任の自覚を習得できる</li></ul>					
③授業計画・内容	<p>【基本】4 回程度</p> <p>1. 情報倫理講習会、授業ガイダンス (情報処理教室の使い方、教育システムの紹介)、レディネス調査</p> <p>2. コンピュータの基本操作と構造 (ファイル・フォルダの管理、電子メールの送受信)</p> <p>3. ネットワークの仕組み、情報検索 (WWW での情報検索、学術情報)</p> <p>4. 情報の活用と情報倫理、情リテ情報倫理テスト</p> <p>【標準】4 回～6 回程度</p> <p>5. 文書作成ソフトによる文書編集(1) (文書の作成・保存、文字の種類・サイズ・位置揃え、段落番号、箇条書きなど)</p> <p>6. 文書作成ソフトによる文書編集(2) (表の作成、図の貼り付け、図形の描画など)</p> <p>7. 表計算ソフトによるデータ処理(1) (表の行と列、データの入力、セルの調整、数式処理、オートフィルなど)</p> <p>8. 表計算ソフトによるデータ処理(2) (関数、絶対参照と相対参照、グラフの作成など)</p> <p>9. 表計算ソフトによるデータ処理(3) (ソート、フィルタ、データの集計など)</p> <p>10.課題提出のための実習</p> <p>【発展】4 回～5 回程度</p> <p>※以下の学習内容については、担当教員の指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"><li>プレゼンテーション(1) (スライドの作成、画像の挿入、アニメーション、ハイパーリンクなど)</li><li>プレゼンテーション(2) (グループまたはクラス全体での発表、質疑応答など)</li><li>プログラミングの基礎(1)／プログラミングの基礎(2)</li><li>動画編集(1)／動画編集(2)</li><li>HTML(1)／HTML(2)</li></ul> <p>15.まとめ</p> <p>※【標準】および【発展】の学習内容は、各学部・学系により異なる場合がある。</p> <p>【授業外学習】eラーニングシステム上のコースウェアや、担当教員が公開する資料などを用いて、予習や復習、課題への取り組みを十分に行うこと。</p>					
④テキスト・参考書等	eラーニングシステム上に標準コースウェアを設置する。 クラスによっては担当教員から別途、指示される場合がある。					
⑤成績評価方法	<p>以下の観点に基づき総合的に評価する (担当教員により若干異なる場合がある)。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>授業への出席 (4 回以上の欠席は原則として不合格とする)</li><li>【基本】【標準】【発展】で提示される課題や発表</li><li>情リテ情報倫理テスト</li></ul>					
⑥特記事項	<p>初回の「情報倫理講習会」を受講しない場合、原則として授業を受講できなくなるため注意すること。</p> <p>関連する授業科目として、後期に情報リテラシー実践Ⅱ A (統計学の基礎とデータ処理)、情報リテラシー実践Ⅱ B (プログラミング)、情報リテラシー実践Ⅱ C (画像・音の処理)を提供している。</p> <p>【質問受付方法】担当教員により異なるため、授業ガイダンスの際に提示する。</p>					